

常任委員会

3分限会で徹底調査

こんなことを聞きました

常任委員会とは？

その部門に属する町の事務に関する調査を行い、また、議案、請願・陳情等を審査します。本町議会では、3常任委員会に分かれています。

総務委員会

総合計画、広報、財政、DX推進、税務庁舎管理、選挙、防災、戸籍等に関すること

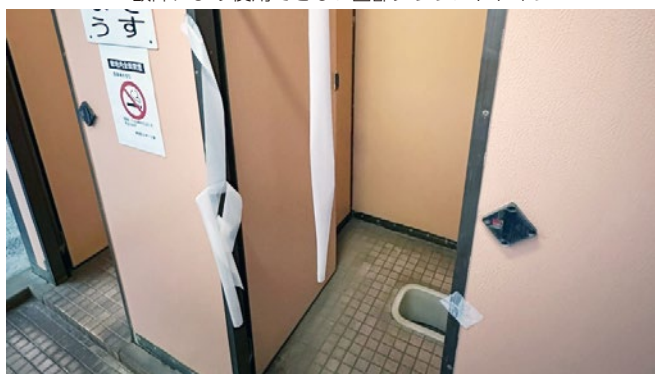
こどもふくし委員会

学校教育、保育園、生涯学習、スポーツ、図書館、健康、高齢者・障がい福祉、保険・年金等に関すること

まちづくり委員会

交通安全、防犯カメラ、啓発、コミュニティ、ごみ、環境、農業、消費生活、観光、都市計画、バス公園、建築、道路、河川、防犯灯、上下水道等に関すること

▼故障により使用できない西部グラウンドトイレ



施設整備と接種率の向上を！



▲予防接種の助成制度で受験等に集中

こどもふくし委員会

一般会計決算 学校および公共施設 トイレ環境整備計画

学校等の洋式化は計画的に進められている。しかし屋外施設には、修繕すら進んでいない施設もある。

Q 小学校の洋式化の進捗状況は。

A 全校の洋式化率は約59・2％。教室周辺は約67・2％である。

Q トイレ環境の整備が不十分な学校も見受けられる。国の補助金に頼らず、町単費で実施する考えは。

A 老朽化により、トイレだけでなく、他の改修も必要となっている。将来を見据えた町全体の予算の中で、優先順位を適切に設定し、地方債等の活用や他の選択肢も含めて、最も適切な方法で対応を図っていききたい。

Q 町営グラウンド、西部グラウンド、岡田川テニスコートのトイレは浄化槽式^①か。

A 町営グラウンドは、公共下水道に接続。西部グラウンドと岡田川テニスコートは、し尿汲み取りを実施。

Q 西部グラウンドの女子トイレが一部使用できない。改修計画は。

A 損傷している便槽が地下埋設で、現建物での修繕が不可能なため、使用を禁止している。

浄化槽式トイレを検討したが高額のため、使用頻度から現実的ではないと判断。汲み取り式トイレは、町としても課題であり、他市町の「自己処理型水洗トイレ」等を参考に、再配置計画等も考慮して、計画的に取り組んでいく。

一般会計決算 子どもの受験等を 応援する補助金

受験や就職等、進路決定を控えた重要な時期を安心して過ごしてもらうため、中学3年生および高校3年生の学齢相当の方のインフルエンザ予防接種費用1人につき最大2千円を助成。

Q インフルエンザ予防接種費用補助金の当初見込み人数は。

A 中学3年生と高校3年生相当の987人の70％である690人を見込んでいた。

Q 接種率の低さへの考えは。

A 接種するかどうかは個人の判断だが、受験の大事な時期に子どもたちの安心につながる有用な施策と考えている。より多くの子どもたちが安心して受験の時期を迎えられるよう制度の周知を図っていく。

①浄化槽式…敷地内の浄化槽内で微生物により汚水を分解し浄化する仕組み。汲み取り式では、汚水を溜めて業者が汲み取る。下水道は、汚水を流して処理場で浄化している。

総務委員会

一般会計
決算

住民の通報で 町の問題解決を

フィックスマイストリートへの投稿で、町内の道路や水路の破損、防犯灯の故障、公園管理、ごみステーション等の問題を町や住民と共有できる。令和6年度は116件の投稿があった。

Q 主な内訳と件数は。

A 道路関連が83件で、路面の陥没状況等が投稿されている。特に緊急性の高い案件は、町職員が即日修繕対応している。

Q 今後の周知方法は。

A 町広報紙、各地区のコミュニティセンターにポスターを掲示している。防災訓練等を活用し、災害時の利用も含めた周知、利用促進に努めていく。



▲フィックスマイストリートの解決事例

一般会計
決算

災害への備えは 万全か

防災事業費で自主防災会活動補助金、アルファ化米^①等の防災備蓄品等を購入している。

Q アルファ化米の新たな味や防災食の缶詰等を導入する予定は。

A アルファ化米は現在、白米、わかめご飯、五目ご飯を中心に備蓄。新たな味については、価格やアレルギー対応等を調査し、検討したい。缶詰も、どのような商品が流通しているか、調査・研究していきたい。

Q 主な備蓄品は、町の防災倉庫や自主防災会の防災倉庫に振り分けられて保管されているのか。

A 町の防災倉庫と自主防災会の防災倉庫に振り分けて保管している。

Q 「防災ラジオが聞こえづらい」という住民の声に対する対策は。

A 町公式「＼＼＼や安心安全メルマガ等を活用し、情報発信を行っている。情報伝達手段の多重化を図っていききたい。



まちづくり委員会

一般会計
決算

自分と家族のために！ ヘルメット着用を促進

自転車乗車中の交通事故の7割は、主に頭部の損傷。ヘルメットの正しい着用で頭部損傷による死者が約4分の1に低減すると言われている。

町では事故発生時の被害軽減のため、自転車乗車用ヘルメット購入費の一部を県と協調して補助。

Q 自転車乗車用ヘルメット補助金の利用が減少した要因は。

A 令和5年度にオンライン申請が可能になったこと、ヘルメット着用が努力義務となり、ある程度購入された反動と考える。

Q 住民への周知方法は。

A ヘルメットを扱う店舗や販売店へのチラシ配布のほか、町広報紙や町ホームページ等である。



一般会計
決算

GX^②への取り組み、 順調に推進

民間企業と連携し、資源循環の活性化に取り組んだ。

Q 令和6年度のGX加速への取り組み内容と成果・評価は。

A 新たに、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社と株式会社Mitsubishiの各協定に基づき、ペットボトルの水平リサイクルを実施。また、中部国際空港株式会社と連携協定を締結。家庭から出る廃食用油を持続可能な空港燃料SAF^③に循環させる取り組みも実施した。

自治体としては、中部国際空港株式会社と最初に連携協定を結び、廃食用油回収を進めてきたことが、セントレアでの国産SAF供給開始につながったと認識している。

Q 会計決算上の評価は。

A 廃食用油は、回収量が増加したこと、ペットボトルは売却単価が上がったことで歳入が増加。どちらも財源確保に貢献した。



▲ドラムで廃食用油を回収

語句
説明

①アルファ化米…一度炊いたご飯を乾燥させて長期保存できるように加工したもの

②GX…Green Transformationの略。化石燃料をクリーンエネルギーに転換して、脱炭素化社会を構築しようという取り組み

③SAF…Sustainable Aviation Fuel (持続可能な航空燃料)の略。循環型の原料で製造された航空燃料